

第11回議会報告会での発表内容等（区別）

テーマ：「子ども・子育て・教育」

北 区

○南浜中学校のグループ

<現状>

- ・生徒数が減少。
- ・部活の選択肢が少ない。部活の存続が危ぶまれている。
- ・PTA会費も減っている。子どもがやりたい事をさせてあげられない。
- ・太夫浜小学校区の中で、中学校を南浜中か松浜中か選べる町内があり、結果的に南浜中は少数である。
- ・通学路に歩道が整備されていない。

<要望・意見>

- ・スクールバスを出してほしい。
- ・区バスが不便。土日も出してほしい。中学生は安くしてほしい。
- ・地域単独でお祝い金（出産、3歳、入学時など）を出す。

○南浜小学校のグループ

<懸案>

- ・子どもの減少で南浜小・中学校は無くなってしまうのか。

<現状>

- ・少人数だと目が行き届く。
- ・少人数だと競争心が芽生えづらい。
- ・少人数だと人間関係が固着しがちになる。
- ・少人数だと教育効果に不安。
- ・地域の声としては、存続を希望している。
- ・地域の方々は、教育に協力的である。

<要望・意見>

- ・子どもを増やす。
- ・居住調整区域で新たに住めない。(空き家は多い)
- ・公共交通を充実させてほしい。(しかし利用者は少ない)

○太夫浜小学校のグループ1

子ども・子育てについて

<現状>

- ・子育てにお金がかかる。
- ・入りたい保育園に入れない。
- ・雨や雪でも遊べる場所がない。
- ・部活動への負担が大きい。
- ・小児科医院が近くにない。

<要望・意見>

- ・妊娠、育児手当がほしい。
- ・ひまわりクラブの時間を伸ばしてほしい。
- ・所得に応じての保育料でなく、一律にしてほしい。
- ・春、夏、冬休みも給食がほしい。
- ・インフルエンザの予防接種を補助してほしい。

教育について

<要望・意見>

- ・図書館を充実させてほしい。
- ・通学路に灯りがほしい。
- ・通学路を舗装してほしい。
- ・制服と体操着を支給してほしい。
- ・給食費を無償化してほしい。
- ・スクールバスを出してほしい。
- ・児童クラブを広くしてほしい。
- ・中学校が別々になってしまうからかわいそう。

○太夫浜小学校のグループ2 新潟市の子育て環境について

<現状>

- ・男性の年収が低い。
- ・女性の働きものが多い。
- ・女性の就職率が高い。
- ・正規雇用が少ない。
- ・子どもの教育費が心配。

<要望・意見>

- ・公立の大学を増やしてほしい。
- ・奨学金を見直してほしい。
- ・幼稚園を無償化してほしい。

新潟市の小学生の現状について

<現状>

- ・子どもたちが遊べる公園が少ない。
- ・朝ごはんを食べている子どもが多い。
- ・決まった時間に寝て起きており、睡眠時間も取れている。
- ・学力テストの結果は良い。

<要望・意見>

- ・室内で遊べる施設がほしい。

○太夫浜小学校のグループ3 スクールバス・通学路について

<現状>

- ・自転車通学時、道が砂だらけである。
- ・夜道が暗い。

<要望・意見>

- ・南浜小学校へ行くスクールバスを運行してほしい。
- ・中学校へ冬場運行する区バスは、部活が終わる時間も走らせてほしい。
- ・中学校へ冬場運行する区バスは、無料にしてほしい。

- ・冬場の区バスだけでなく、格安か無料のスクールバスがほしい。
- ・通学路を整備してほしい。
- ・街灯を設置してほしい。

施設について

<要望・意見>

- ・昔より夏場の気温が上昇しているので、小中学校にエアコンを設置してほしい。
- ・トイレを洋式にしてほしい。(グラウンド、公立高校、公立保育園)
- ・グラウンドに照明がほしい。
- ・グラウンドの芝生はいいが、草刈りが大変である。
- ・小学校のグラウンドや公園に、もっと楽しそうな遊具がほしい。

給食について

<要望・意見>

- ・中学校のランチを給食にしてほしい。
- ・中学校も温かい給食にしてほしい。

クラスの人数について

<要望・意見>

- ・昔から40人学級である。少人数にしてほしい。
- ・少人数にすることによって、学力向上が期待できるのでは。

教育費について

<現状>

- ・子どもにお金がかかりすぎる。そのため子どもを産むことができない。

<要望・意見>

- ・保育料が高い。無料にしてほしい。
- ・小中学校は無償化にしてほしい。
- ・子ども手当を増額してほしい。

東 区

<現状>

- ・共働きにより、子どもの孤独感が心配。
- ・共働きで、夫の帰りが遅い。また、子どもが習い事をするのが当たり前の環境になっているが、変な犯罪が多く怖いので、子どもが大きくなっても送り迎えをしないと心配。そういうこともありPTAの集まりにも積極的に参加できない。
- ・周りは子どもの多い家庭が多い。保育園も入りやすかったし、住みやすいところだと感じた。
- ・いじめが見当たらず、学校の雰囲気がいい。子どもたちも学校が楽しいと言っている。
- ・2人子どもがいるが、本当は3人欲しかった。保育料や教育資金のことを考えると現実的だと思う。

<要望・意見>

- ・PTA活動に協力的に参加してほしい。
- ・3人目の子どもが産まれた際に、保育園に入れずに自分でその子を見たいと思い保育園に相談した。そういうことだと上の2人の子どもも「預かれない」と言われたが、もっと自由に保育園に入れる環境にしてほしい。また、保育園に入る際の書類も簡素化してほしい。
- ・午後7時から始まるアニメが我々の子どもの頃と比べて少ない。この時間帯を利用して子どもと会話するきっかけなどを作りたいと思っているため、子供向けのアニメ放送が多くならないかと思っている。
- ・支援学級について、中学校にも支援学級があり、その上になると自立支援学校や職業を身に付ける所などがある。それより大きくなると行くところがないということで、グループホームがあればいいという意見があるが、世話人がいないので運営ができないということなので、改善に向けた取り組みができればと思う。
- ・ひまわりクラブが1つだったが、現在は2つある。この2つのひまわりクラブの雰囲気が全然違う。運営しているスタッフによって違うのだと思うが、子どもたちが活発に活動できるよう改善を望む。
- ・我々じいちゃん、ばあちゃんを学校で上手に使ってほしい。子育てをしてきた

ベテランなので、役に立つこともあると思う。

- 子どもが4人いるが、子どもが産まれるたびに保育園を出されては仕事を辞め、子どもたちを保育園に入れるためには正社員になりフルタイムで働かないと子どもを保育園に入れられないので、仕事をいくつも変えてきた。そういう意味では新潟市は子どもを育てにくい環境なので、保育園に自由に入れる環境を作ってほしい。
- 保育園、小学校、中学校と子どもが成長するたびに、その都度違う悩みを持つ人もいる。身近に子どものことで相談できる環境・場所（学校に）がほしい。また、PTAと学校側とで折り合いがつかないときに、他の所へ相談できるような場所がほしい。
- ひまわりクラブに通わない子どもたちが勉強や遊べる環境がほしい。夏休みや冬休みには公民館を開放して、勉強ができるようにしているが、常に開放してほしい。また、東区ではまちづくりセンターで中学生や小学生を対象に実施しているが、船江町から山の下まで行く足がない。
- 大形中学校は校区が広い地域で生徒が増えているが、各地域で歴史、成り立ちが違うため、地域同士の一体感がなく、子どもたちと大人で何かしようと思っても、希薄で参加者が少ない。そういう意味で、地域の人たちとPTAとで地域の活動を集約する場がほしい。
- 小学校、中学校、高校、大学とさらに支援学校もある地域である。それぞれのPTAや機関と縦の連携ができればいいと思っているが、そのような事を行っているところがあれば教えてほしいし、応援してほしい。例えば、各学校で防災訓練を行っているが、それを連携できれば、またさらにそこに地域が加われば、なお良いものになると思う。

中央区

○鏡淵小学校のグループ

<現状>

- ・生徒数が多いといいが、人口減少だからどうしようもない。行政でどうにかできる問題でもない。
- ・新潟市の学力テストの成績が全国平均よりいい理由は。
- ・貧困家庭がなぜ子どもの成績に影響するのかわからない。
- ・子どもたちが少ないので、多くの友だちをつくることができないのではないか。一方、少人数だからこそ学年をまたがって友だちができる。鏡淵の地域を考えると少人数でいいのではないか。
- ・学校によって教材費の使い方が違う。
- ・PTAサイドからみて、行政に求めることは今のところ無い。

<要望・意見>

- ・「算数セット」の購入は、親の負担を考えると使い回しでもいいのでは。
- ・地域の活動や各種行事をもっと支援してほしい。

○白山小学校のグループ

<現状>

- ・子どもの遊び場がない。
→遊ぶ友だちも少なくなっている。放課後児童クラブの急増は、単純なニーズの増大だけではなく、家に帰っても地域で遊べる友だちが少なく、「自分の子も」という事で、みんなが通わせている実態がある。
- ・児童クラブの予算が少ない。
- ・夫婦共働きや、核家族化で保護者は忙しく、ふれあいスクールのボランティア不足。
- ・子どもを産み育てたいと思えるような環境になっていない。

<要望・意見>

- ・子育てなど毎日の暮らしで手一杯で、社会の事まで関心が及ばない。そのうち親の介護が始まる。子育て問題は、地域包括ケアなど高齢者介護問題と密接につながっているなので、社会的包摂が重要。

- ・地域と学校の連携事業については、非常に有効。ただし、教員の負担増との指摘もある。

○白新中学校のグループ

教育環境の整備について

<現状>

- ・PTAとして、学校に望むことは無いし満足している。
- ・学校設備の問題。(雨漏り、トイレ)
- ・児童数が減少している。
- ・少子化で部活動が成り立ちづらい。
- ・学校規模の格差がある。
- ・ひまわりクラブの定員が足りない。
- ・幼稚園の学費が高い。
- ・医療費が他県に比べて高く、保護者の負担が多い。

<要望・意見>

- ・教育環境の整備を促進してほしい。
 - 老朽校舎の改善（雨漏り補修工事など）
 - トイレの改修
 - 雨が降っても運動ができる施設の整備。
- ・学校の計画的な統廃合を考える。
- ・医療費を中学校まで無償化してほしい。

江南区

地域の環境について

<現状>

- ・通学道路が狭く心配。特に高齢者の運転事故の報道に接すると不安になる。
- ・中央区の高校へ通学。冬場は特に交通の不便さを感じる。例：バス停。

<要望・意見>

- ・心も体も貧しくならないように、孤食にならないように子ども食堂を増やしてほしい。
- ・亀田公園のそばで不審者が出たと聞いたので対策をしてほしい。

子育て一般について

<現状>

- ・中学生から高校生にかけての「思春期」における父親と子の関わりについて。
- ・上の子の時は専業主婦が多かったが、今は働いている母親が多い。兄弟姉妹の年齢の間隔があくと、学校の様子が変わっていて戸惑う。
- ・共働きでないと生活が苦しいという面がある。
- ・お金がかかるから子どもを産めない。

放課後の過ごし方について

<現状>

- ・小1ギャップがあった。大半がひまわりクラブに通っている。
- ・来年度からひまわりクラブの料金が上がる。
- ・「ふれあいドーム」は団体が（専用）使用しているから遊べない。

<要望・意見>

- ・天気が悪いと外で遊べないので、屋内で体が動かせる施設がほしい。児童館は小学校の低学年にはいいが、高学年にとっては制約がある。無料で自由に通えて遊べる屋内空間がほしいと感じる。

学校給食について

<現状>

- ・中学校になると給食が無くなる。カードのチャージを忘れると食べられないと聞く。
- ・お金をチャージすることを忘れると弁当を取りに行かないとだめなので、結構大変。
- ・共働きで、看護師（3交代）をしている。夫に弁当を頼むのは難しい。

<要望・意見>

- ・小学校のような給食にしてほしい。

給食の食物アレルギー対応について

<現状>

- ・小学校1年生の時、給食を出せないと言われたが出してもらえるまで通い、苦勞した。全てを除去することは難しいとのことだが、ピーナツなどにも反応が出る子もいる。重篤な症状も出るので、徹底的に原因の食材を排除してほしいし、小学校は排除していて、31品目明示してある。中学校の給食にもアレルギー対応をお願いしたいが、業者によっては給食のアレルギー対応が違ふと聞いた。救急車の出動があるようでは困るし、不安だ。
- ・アナフィラキシーショック対応で注射器を持参させたこともある。（1本1万円）

保育園待機児童問題と保育料について

<現状>

- ・子どもが4人いる。年度途中の入園だと希望があっても入れない。
- ・子どもが3人とも保育園なら保育料が無料となるが、3人とも保育園なんて「ありえない」感じがする。

<要望・意見>

- ・兄弟姉妹が同じ保育園に入れるようにしてほしい。
- ・多子世帯の保育料を無料にしてもらいたい。

子どもの健康と子ども医療費助成について

<現状>

- ・小学5年生の双子の子がいる。医療費は中学になると3割負担となる。スポーツをしていて怪我でもしたら負担が大きい。
- ・インフルエンザの予防接種が4,000円前後かかる。親2人と子ども3人で20,000円になり、負担が大きい。

<要望・意見>

- ・子どもの医療費助成について、3人以下でも補助してほしい。
- ・子どもが3人いるが、子どもの医療費530円は助かる。私立高校は費用負担が大きい。年齢にかかわらず支援してほしい。
- ・インフルエンザの予防接種は、昔のように集団接種にしてほしい。
- ・インフルエンザの予防接種は、小学生2人のときは2回予防接種を受けたので、助成してほしい。
- ・インフルエンザ予防では、学校で手洗いをしっかりしてもらいたいが、冬場は水が冷たくて手を抜くらしい。長岡ではお湯が出るそうだが、お湯が出れば、子どももしっかり手洗いをすると思う。

教育費について

<現状>

- ・私立高校は費用の負担が大きい。
- ・通学にかかる費用も負担感がある。

<要望・意見>

- ・子どもの人数に関わらず、支援がほしい。

秋葉区

○グループ1 課題：少子化

<現状>

- ・若い世代に結婚にメリットや魅力を感じていない人も多いのではないか。
- ・子どもがいなくなると、地域が廃れ、高齢化社会になっていく。

<解決策>

- ・未婚率の改善が必要。
- ・生活の保障。
- ・給料を増やす。
- ・公園などの子育て環境の整備。
- ・保育園の保育料が高いので、そういうところにも手厚い保障が必要。
- ・秋葉区には地域を生かした子育て環境があるので、温泉や自然などのいい環境をPRしていくべき。

○グループ2

<課題>

子どもについて

- ・スマホ、ゲーム等への依存。
- ・スクールカウンセラーの配置。
- ・少人数学校。
- ・地域活動への参加が少ない。

子育てについて

- ・地域で子育てができていない現状。

教育について

- ・学力を上げる。
- ・子どもと親と一緒に過ごす時間の不足。
- ・先生の地域活動に対する理解不足。
- ・子ども同士のつながりの不足。

<解決策>

- ・外部カウンセラーやソーシャルワーカー等の外部の応援を得る仕組みの構築。

- ・地域ぐるみの教育、子育てをするため、各人に役割を与える。例えば、先生にも地域に出てきてもらい、保護者や子どもと一緒に地域活動に参加できる仕組みの構築等。

○グループ3

<課題>

- ・子どものSNS依存。
- ・放課後時間の確保。
- ・学校施設の整備。(冷房の導入)
- ・学校統廃合時の設備の充実。
- ・学校運営等への保護者の参加。

<解決策>

- ・地域とのつながりを強め、役割分担をすることが必要。
- ・デスクワークでなく、地域に子どもたちが出ていく、地域の人を学校に取り込むというかたちで、地域の人を上手く取り込み、地域で子どもを見守るシステムを作り、先生方の負担を減らす。減らした部分を先生方の本来の目的である学力の向上に力を注いでもらう。
- ・熱中症対策のため、冷房設備の導入。

○グループ4

<課題>

- ・少子化。
- ・産婦人科が無い。
- ・子育てにお金がかかる。
- ・高水準な教育を受けさせるための環境が不十分。
- ・親と子どもが一緒にいる時間の不足。
- ・学校環境の不備。(エアコン、グラウンドの水はけ)

<解決策>

- ・将来人口を見据えた学校の再配置。
- ・市として子育てを最優先に施策を組み立てる。
- ・結婚してもらう環境の整備。
- ・産婦人科の配置。

- ・他都市を見習い助成金の創設。
- ・学費の平準化、塾へ通えるよう交通インフラの整備。
- ・市から企業へ働きかけ、場合によっては企業を助成。
- ・熱中症にならないよう、エアコンの設置。

○グループ5

<課題>

- ・保育園の問題。(先生の不足、定員の不足、入園審査方法)
- ・費用の問題。(インフルエンザワクチン接種費用が高い)
- ・学校における児童、生徒の減少。
- ・子どものインターネット利用時間の増加。
- ・子育て環境。(産科が秋葉区内に無い、小児科が少なくいつも混雑している)

<解決策>

- ・入園審査方法の見直し。
- ・インフルエンザワクチン接種費用の無償か助成制度の新設(高齢者にはあるが乳幼児や子どもには無い)や多子減免。
- ・学校の統廃合。
- ・学校からの指導。
- ・小児科、産科を増やす。

南 区

スクールバスについて

<要望・意見>

- ・広域から通っている子どももいて、学校によってはスクールバスがある。白根小学校では区バス（レインボーバス）を使うが、1回50円かかる。帰りは区バスが無くなり安全面で心配なので、スクールバスの運用は考えられないか。
- ・スクールバスは学校によっては乗れる子どもが3年生までや4年生までと制限があり、天候が悪い時は考慮してほしい。学校側からは他校とのバランスがあり難しいと言われている。

白根高校存続問題

<要望・意見>

- ・白根高校は南区唯一の高校だが、入試倍率が1倍を割り、現在1学年3クラス。しかし人口減少で2021年以降はクラスが減ることが予想される。現在県は存続問題について言及していないが、将来的にはこの問題が突き付けられる。ぜひ、高校を残してほしい。

中学校の部活動について

<要望・意見>

- ・味方や月潟、臼井地域は子どもの数が減っていて、中学校での部活の種類がなく、来年度は剣道部が無くなり、男子は卓球、野球、女子はバレーボール、文化部は吹奏楽部のみになる。小学校の時に続けてきた部活や、興味のある部活に入ることのできない子どももいるため、中学校においては、野球やサッカーのような、連合チームのような他校と一緒に活動できる環境なり方法を、柔軟にかつ積極的に取り組んでもらいたい。

小中学校の統廃合問題

<要望・意見>

- ・児童数減少で学校の適正配置からいえば今後、廃校になる学校が出てくるのではないか。できる限り合併前の村単位の小学校の存続を求める。しかし、中学校においては集団として人間関係や学びを考えると合併も考慮されても

よい。その時は事前に、保護者にアンケート等でニーズや意見・要望を聞いてもらいたい。

- ・学校の統廃合問題は目先のことだけでなく、将来世代のことも考えて議論すべきだ。

その他

<意見・現状>

- ・三条市のような「小・中一貫校」の議論は新潟市にはないのか。
- ・南区では小規模校が多い。小規模校では子ども同士の関係が固定化し、いじめ、不登校等解決が難しい。

西 区

○笠木小学校のグループ

<現状>

- ・子どもの数が少ないため、やりたいスポーツができない。
- ・「いじめ」について話し合ったが、結論らしきものが出せなかった。SNSやパソコン内でのいじめなど、昔のいじめと今のいじめに違いがある。
- ・笠木地域には児童クラブが無い。

<要望・意見>

- ・複式学級について、将来的に学力等の心配が残る。対処、善処をしてほしい。
- ・小規模校だと良い面もあるが、友だち関係が固定化され、いじめも起きやすいと思うため、地域の学校間での交流や部活動等に参加できるようにする。
- ・共働きで子どもをみてる人がいないと大変困るので、児童クラブがどこにでも設置できるようになってほしい。

○小瀬小学校のグループ

<現状>

- ・小規模校であり、複式学級や勉強（学力）について不安がある。
- ・児童生徒数が少なく、PTA役員選出に難がある。
- ・小規模校の良い点もあり、先生方や地域の方に優しく、手厚く見守ってもらえる。小さい学校ならではの体験ができる。

<要望・意見>

- ・統廃合を視野に入れ、保護者のアンケートをとったらいいのではないか。

○中野小屋中学校のグループ

<現状>

- ・学校内に洋式トイレがほとんどない。小学校から入学してきた子がトイレに不安を感じる。
- ・生徒数が少なく、部活動の数が限られ、文科系の部活動は吹奏楽部しかない。
- ・いじめや不登校がなく、先生の間も届いている。
- ・バスの本数が少なく生徒が使えない場合がある。

<要望・意見>

- ・部活動で土日にも活動しているが、休日もほしい。
- ・携帯電話やスマートフォン、SNSのマナー問題を副読本などで教えてほしい。
- ・バスの便数を増やしてほしい。
- ・バスが通りやすいように道路を広げる。
- ・生徒数が減ってきたが、親や祖父母が中野小屋中学校卒業生で、学校への思いも非常に強いので、中野小屋中学校は無くさないでほしい。

○合同のグループ

<現状>

- ・児童生徒数（子ども数）の減少、複式学級。
- ・複式学級を無くせないのか。先生の本数が少ない、常駐している人が少ない。
- ・他の地域、学区から戻ってこれないのか。部活動の問題で、本当は中野小屋中学校に行きたいのに、別の中学校に行く。
- ・市街化調整区域のため、身内であっても隣に家が建てられない。

<要望・意見>

- ・スクールバス、住民バス。福祉と連携してできないか。
- ・先生不足の解消。臨時教員の確保。
- ・学区の区割り変更。本来、高山や槇尾については笠木小学校区だが、内野中学校に行くから、最初から内野に行くというような学区の問題もある。
- ・部活動について、合同チームでできないのか。
- ・市街化調整区域のため、身内であっても隣に家が建てられないという問題について緩和や、申請を簡単にしてほしい。

西蒲区

○Aグループ テーマ：子ども・子育て・教育について

<課題>

- ・子どもが少ない。
- ・経済的に子どもを育てられない。
- ・非正規社員が多い。
- ・保育士不足。
- ・人口格差。(市内各区)
- ・地域の魅力を発信できていない。

<現状の良い点>

- ・第2子、第3子の保育料減免。

<解決策>

- ・3人目以降への出生祝金を出してはどうか。
- ・地域の魅力を発信すべき。

<まとめ>

- ・人口が減っている現状として、いかに魅力を発信し、人口を増やすか。
- ・子育てを行うには、経済的な地盤が必要である。

○Bグループ テーマ：学力アップの方法について

<現状>

- ・共働きで親の目が届かない、届きにくい。
- ・ゲーム、テレビ、勉強で1日が終わり、家族との会話の時間が少ない。家族と話が合わない。
- ・つい厳しい口調で接してしまう。(宿題などの指導で)
- ・家庭学習を増やすにはどうしたら良いか。
- ・ながら勉強でだらだら→怒られて集中→集中が切れる→ながら勉強でだらだら
の繰り返しになる。
- ・下校時間が早いと勉強せずにまず遊びに行く。学習の癖がついていない。
- ・部活、夕食、風呂などを含めると学習時間が睡眠時間を圧迫する。

<要望・意見>

- ・コミュニケーションの時間が必要。
- ・ほめる時間を増やしたい。
- ・テレビ、スマートフォンの時間のコントロール。時間を自分でコントロールさせる。
- ・日頃の学習時間を増やしたい。(テスト前の一夜漬けでなく)
- ・学習に集中できる時間と場所の確保が必要。
- ・質の向上。
 - 机に向かうだけが学習ではない。
 - テストができればそれでよいのか。
 - 時間でなく、量で決める。
 - アウトプットの質を高める効率が求められる。
- ・起床時間、就寝時間のコントロールが必要。
- ・親同士のルールが必要。(遊びに行かない、来ない時間など)

〇〇グループ テーマ：子どもにまつわる諸課題について

児童・生徒の減少について

<現状>

- ・児童生徒数の減少がスポーツや部活動に関わってくる。
- ・部活のために住所変更するなどの手続きが大変。
- ・潟東小中一貫校では、敷地拡大の話が進まない。小学校新築では、面積要件や市の財政の話が先に出て夢がない。潟東小学校移転後の利用計画が見えてこない。

<要望・意見>

- ・複式学級について、少なくとも学年に1人は先生を配置してほしい。

小学校の校外学習について

<現状>

- ・小学校の学年での校外学習が減っている。
- ・学校の予算が無いとのことで、PTAが補助している。

＜要望・意見＞

- ・ 5年生のわくわくキッズコンサート、6年生のこころの劇場は初めて観る子どもが多く、ぜひ続けてほしい。

放課後児童クラブの運営について

＜現状＞

- ・ いくら少人数でも、民間、保護者による運営は大変。

特別支援教育について

＜現状＞

- ・ 障害者手帳を持たない軽度の特別支援を必要とする子どもが増えている。
- ・ 特別支援学級がなく、校区外に通わざるを得ず、大変。

＜要望・意見＞

- ・ 支援員を増やしてほしい。

部活動について

＜要望・意見＞

- ・ 先生から、部活動に平等に関わってほしい。

教員不足について

＜現状＞

- ・ 小学校の地域の方や保護者によるボランティア活動が多い。
- ・ 教員不足を感じる。

＜要望・意見＞

- ・ ボランティア地域コーディネーターの設置を本格化してほしい。
- ・ 私学助成を充実させてほしい。

登下校について

＜現状＞

- ・ 松野尾小学校区の生徒が中学校に通う際、夏は自転車だが、冬は徒歩。（3.5～4 km）バスは自費で、現実には送り迎えしている。越前小学校区はバスがあり、中学校への登校にバス定期券が配布されていて、大変助かっている。

ネットトラブルについて

<現状>

- ・ SNSのトラブルを把握し、対策を立てられるか？
- ・ ネットのトラブルが心配。